
戦力外通告

ルガー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

戦力外通告

【NNコード】

N8868Y

【作者名】

ルガー

【あらすじ】

「残念ながら来季は契約を結ばない意向です。」「子供の頃から憧れだつた野球選手。俺は無職になつた…」

プロローグ

満員の甲子園、1・0のまま迎えた9回裏。

1球1球にざわつきが起こる異常な緊張感が場内に漂っていた。

約4万5000人、その視線の先には左腕がいた。

その左腕は相手の選手を嘲笑うかのように三振の山を築いていく。

そして、26個目のアウトも空振りの三振で飾った。

あと、一人：

捕手のサインに頷きながら打者と対峙する。

豪快なフォームから投げ下ろされる直球に打者もフルスイングで応えた。

鈍い音…ミットに球が収まる音だった。

伊藤道真、甲子園優勝投手の誕生の瞬間であった。

プロローグ（後書き）

初心者で誤字、脱字などありますのが温かく見守って下さる幸いです。

「カキーン、

快音と共に打球はスタンンドへと放り込まれた。
しかし、歓声は小さい。「こ」は一軍…俺が味わった甲子園決勝とは
月とすっぽんだ。

甲子園優勝投手となつた俺はドラフトで9球団競合の末、【横浜ベ
イスターズ】に入団。

万年最下位球団といつこともありキャンプは1軍に帯同。
しかし、キャンプ中に肩を故障し離脱。その年は1軍戦にも一度も
投げられなかつた。

2年目は1軍戦で5試合先発し1勝3敗、防御率は5・60

3年目はオープン戦で結果を残していたが、打球を膝に食らい離脱。
7月頃から、1軍で中継ぎを含め15試合に登板。0勝2敗、防御
率は4・93

4年目も1軍スタート。本来の直球が投げられず12試合に投げ0
勝7敗、防御率は6・46

5年目、23歳になつた俺はまたしてもキャンプで肩を故障した。
そして今、1軍で今季初登板し、本塁打を打たれてしまつた…

もう9月の末だ。

【横浜スターズ】は今年も最下位が確定してしまった。ちなみに1
00敗ペース…

二軍監督が投手の交代を球審に伝えに来た。

俺は投手コーチに球を渡し、足軽にロッカールームへと引き上げていぐ。

「つかえねえーな。」

投手コーチだが観客だが分からぬが、はつきりと俺の耳に入る。
その言葉に反応して、更に歩くスピードを上げる。

なぜだがマウンドが少しだけ恋しかった…

通告

篠突く雨の音のなか、俺はビニール傘を片手に持ちながら歩いていた。

昨日の夜にマネージャーから明日、球団事務所に来いと言われたのだ。

もうあれしかないよな…

事務所に着くとロビーに座られ、暫くすると奥の部屋へと案内される。

そこには、他にも4選手がいた。いずれも一軍で活躍した選手ではなかつた。

息が出来ないくらいの緊張感がそこにはあった。

甲子園決勝の心地が良いものではない、もっと残酷さや絶望感が漂つていてる。

トレーデ…いや、無いな…

必死に光を探していた俺らにGMが背後のドアから入ってきた。

貧相な顔立ちで今にも倒れそうな細心だった。俺らは自然と身体の向きをそちらへ変える。

「えー、残念ながら来季は契約を結ばない意向です。」

「…はつきり言って下さこよ。戦力外つて…」

俺は低い声でそう言つていた。

覚悟をしていたはずだが、やはりショックだった。

その後、マスクの対応など諸々の注意が説明される。どの選手も頷きもしなければ表情を変化させることもない。

雨の音がただ呆然と耳に入った。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8868y/>

戦力外通告

2011年11月27日15時46分発行